

台風19号被災地
長期的支援必要

総社、赤磐市

AMDA会見

台風19号で大規模な
被害を受けた福島県相
馬市などで支援活動を

行う総社、赤磐市、国
際医療ボランティアA
MDA（岡山市）が25
日、岡山市内で会見し、
長期的な支援の必要性
を訴えた。

総社、赤磐市とAM
DAは合同チーム（計
12人）として14～20日
に相馬市で活動。両市



福島県相馬市などでの活動
を報告する関係者

職員はり災証明書の発
行に伴う調査・事務作
業の支援などに当た
り、AMDAは避難所
運営などに携わった。
チームとは別に、総社
市は同県いわき市や茨
城県常陸大宮市にも職
員を派遣。AMDAは
長野市と宮城県丸森町

でも活動を続けてい
る。

会見で片岡聡一・総
社市長と友実武則・赤
磐市長は「被害は広
範囲にわたっており、
今後も継続して支援
を続けたい」と述べ
た。AMDAは地域性
や自治体の意向を踏
まえた支援の重要性を
強調した。

（伊丹友香）